

36. スリットアニメーションを作ろう

アサンプション国際中学校高等学校 自然科学部 弓庭純一郎

1. 子どもたちへのメッセージ

紙とペンさえあれば、「いつでも」「どこでも」「いくらでも」できます。工夫と根性次第ですごいアニメーションができたりします。

2. よういするもの

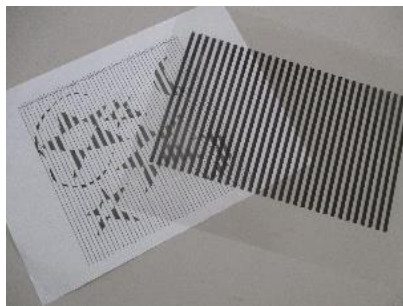
ペン2本（濃い色で太いものと細いもの）と鉛筆、消しゴム、スリット（2コマ用）、下絵を描く紙（2コマ用）

3. やりかた

- ① 下絵の紙には、ABABABAB・・・と記号がふつてあります。
- ② できるだけ「うすく」下絵を描きます。
- ③ Aの部分にだけ「濃く」着色をして、Bの部分の下絵は消してしまいます。
- ④ 同じ紙に別の絵を「うすく」描きます。
- ⑤ Bの部分にだけ「濃く」着色をして
- ⑥ Aの部分に残っている下絵は消してしまいます。
- ⑦ でき上がったら、スリットの下にABの絵を重ねて、左右にゆっくり動かしてみましよう。

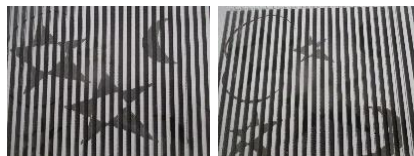
4. わかること

ヒトの脳は「隠された部分」にも何かがあるように考えます。スリットの黒い部分で隠されたものと、透明な部分で見えているAとBの絵が交互に現れることで動くように見えるのです。



5. 気をつけよう

ABの枠からはみ出さないように着色すること。ペンは太い細いをうまく使い分けましょう。もし3コマアニメーションを作りたいときは、別のスリットと下絵用の紙（ABCが書いてあるもの）を使ってチャレンジして下さい。



6. 問い合わせ先

アサンプション国際中学校高等学校 弓庭純一郎 TEL072-721-3080

7. 参考になる資料

ちょっと不思議なばらばらマンガ「Slit Animation.com」

<https://slitanimation.com/>